

令和2年8月28日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長

霜村典宏 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

教授又は准教授 1名

2. 所属

附属フィールドサイエンスセンター 森林管理部門

3. 応募資格

- (1) 教育研究林の管理・運営に必要な幅広い知識と実践経験を持ち、下記のテーマに関わる教育研究を行うことができること。
 - 1) 森林の造成、管理に関する現場技術の実践的教育
 - 2) 森林生態系機能の持続的発揮に向けた適切な森林管理・施業の研究
 - 3) 山陰地域の森林・林業の課題解決に向けた研究
- (2) 鳥取大学農学部教員選考基準(資料1)を満たしていること。
- (3) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻が担当できること(資料2)。
- (4) 全学共通科目・一般教養科目の生物学を担当できること。
- (5) 教育職員免許状関連授業科目・教科に関する科目の生物学を担当できること。

*資料1、2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてください。

(<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

- (1) 学 部:担当教育コース 里地里山環境管理学コース 育林学教育研究分野

育林学Ⅰ、Ⅱ、森林管理学、里地里山論Ⅰ(分担)、里地里山演習Ⅰ(分担)、里山森林実習Ⅱ(分担)、生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、教育職員免許状関係授業科目(生物学実験演習、分担)、全学共通科目・一般教養科目(生物学)、大学間連携里山フィールド演習(分担)等

- (2) 大学院:持続性社会創生科学研究科博士前期課程 農学専攻 里地里山環境管理学コース
育林学教育研究分野
育林学特論、生命環境農学特論Ⅰ(分担)、農学特別演習Ⅰ・Ⅱ等

5. 提出書類

- | | |
|--|-----|
| (1) 履歴書(記入要項参照) | 1通 |
| (2) 調査書(記入要項参照) | 1通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文及び総説の別刷(複写も可) | 各1部 |
| (4) 主要研究業績の概要(2,000字程度) | 1部 |
| (5) 教育研究に対する抱負(1,200字程度) | 1部 |
| (6) 研究業績以外に次に掲げる優れた個人業績を有する場合は、
その概要(計2,000字程度) | 1部 |
| ① 大学教員以外の実務経験を含む教育上有用な優れた実績 | |
| ② 学内外で評価の高い教育業績(授業評価及び教育負担) | |
| ③ 大学等の組織における管理・運営等に関する顕著な実績 | |
| ④ 地域貢献事業や国際交流等に関する顕著な実績 | |
| ⑤ 実用価値の高い特許申請 | |
| (7) 大学内における管理運営に対する抱負(1,000字程度) | 1部 |
| (8) 推薦者がある場合は推薦書 | 1通 |

* 記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてください。
(<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

6. 応募締切

令和2年10月30日(金) 必着

7. 選考方法

書類選考の後、最終候補者にプレゼンテーションと面接を行います。面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、上記の選考過程をオンラインにより実施する場合があります。

8. 採用予定年月日

令和3年4月1日

9. 書類送付先及び問合せ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部 附属フィールドサイエンスセンター 森林管理部門教員

予備選考委員長 永松 大

電話:0857-31-5112

E-mail:daina@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

なお、応募書類は原則返却いたしません。著書等の返却を希望される場合は、その旨をお知らせください。

10. その他

鳥取大学は、職員全員が仕事と生活の調和を実現できる職場環境づくりを進めています。

また、ダイバーシティキャンパスの推進に取り組んでおります。

鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

<https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>

・鳥取県の「子育て王国とっとり」

<https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1.フィールドサイエンスセンターはフィールド教育部門、フィールド活用部門、森林管理部門の3部門で構成されています。フィールド教育部門は、農業生産の基礎となる技術・技能教育を進めるとともに、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理に関する実践と教育を担います。フィールド活用部門は、学びのキャンパスに隣接する農場という地の利を活用しながら、地域特産物の栽培技術の高度化、新品種の開発、農作業の軽労化など、地域、特に、中山間地が抱える問題の解決に向けた教育と研究を行います。森林管理部門は、特色ある4つの教育研究林を活用し、森林生態系を健全な状態に維持・管理するとともに、附属菌類きのこ遺伝資源研究センターとの連携を強化し、森林の多面的機能の高度発揮と森林管理技術に関する教育と研究を行うこととしています。

2.生命環境農学科には、教育コースとして国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学の4つのコースがあります。

里地里山環境管理学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

里地里山を対象として、人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を理解し、環境や資源の持続的な管理・利用に貢献できる人材を養成します。

【教育目標】

- (1) 里地里山における生物多様性・生態系サービス、流域単位の森林の適切な管理による環境資源の有効利用に関する理論と手法を修得します。
- (2) 里地里山で営まれる生活と経済活動の価値を理解し、環境資源を地域振興に活かすために、農山村経済、農林業経営、地域活性化に関する理論と手法を修得します。
- (3) 里地里山をフィールドとする教育によって課題発見・解決のための実践力を修得します。

3. 本学部の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程(修士課程)を母体として編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士課程(後期3年)の教育・研究指導も担当しています。

以上